



日本共産党 くらしに安心 未来に希望 ささい喜世子のお約束

みなさんと一緒に実現します

コロナ危機からくらしを守る

- 学校、就学前施設、福祉施設で働く人への優先的なワクチン接種と定期的なPCR検査の社会的検査の実施
- 生活困難者への市独自支援策
- 小規模事業者への市独自給付制度



くらし・高齢者支援

- 国民健康保険料・介護保険料の軽減
- 中学校校区ごとに地域包括支援センターの設置
- 公共施設循環バスの路線拡充と運賃補助でお出かけ支援
- 公共施設の利用料の軽減



子育て支援・教育充実

- 少人数学級の推進
- 学校給食費の無償化
- 子どもの医療費窓口負担ゼロ
- 保育園の待機児童解消



安心・安全のまちづくり

- 地域の拠点となる公共施設の存続
- 避難所となる学校体育館にエアコン設置
- 市民が憩える公園の整備

これからも 粘り強く実現めざします

- ★ 府道藤井寺伊賀線、府道西藤井寺線に歩道の設置を
- ★ みんなが憩え、子どもたちが楽しく遊べる公園づくりを
- ★ 夏に「せせらぎの道」に流水を(右写真)



一人ひとりの
声が届くまちに

ささい喜世子

羽曳野市会議員

ご相談はお気軽に▶▶▶090-9272-7328

プロフィール

1951年 大阪市生まれ18歳で羽曳野市へ 父の実家は「郡戸」
1972年 常磐会短期大学卒 大阪市立矢田中保育所就職
1975年 大阪福祉事業財団高鷺保育園へ就職。26年間保育士として働く。
羽曳野市保育運動連絡会事務局長などを務め、より良い保育を求めお母さんたちと活動
2001年 羽曳野市議会議員に当選
2016年 4月に辞職し、市長選に出馬
2019年 10月市会議員に当選 副議長・議会運営委員長などを歴任
現在、高鷺6丁目在住／夫と2人暮らし 子ども3人は独立／趣味：和太鼓、二胡に親しむ





ささい喜世子の 議員活動の原点は「子どもたちが健やかに育つこと」


日本共産党

◆ 政治が変われば 保育が変わる

3人の子育てをしながら、26年間、民間保育園の保育士として働いてきました。日々の保育の中で「もっと良い保育がしたい」の願いに応えてくれたのが、日本共産党議員団と当時の津田革新市政でした。「政治が変われば保育が変わる」を実感し、日本共産党に入党。

市民の立場に立って活動する日本共産党の議員であることに誇りをもって、子どもたちが笑顔で暮らせる未来をつくるため、さらにみなさんと力を合わせて、走り続けます。



◆ 「安心して子育てしたい」の願い まっすぐ議会へ



毎議会の30分の持ち時間をフルに使って質問

日本共産党は、就学前施設を統廃合する「こども園」ではなく、地域とのつながりを大切にし、安心して子育てできる拠点である幼稚園や、保育園を充実させるよう強く求めてきました。

高鷲北幼稚園と島泉保育園を強引に廃園しようとする市のやり方に抗議する1万2千筆の署名に託された保護者の声に応え、「安心して子育てしたいと願う保護者の声に応えるべき」と議会で奮闘しました。

安心して子育てできるよう、待機児解消のための認可保育園の増設や、幼稚園全園での3歳児保育や預かり保育の実施など、子どもたちの健やかな育ちを願う、お父さんお母さんと力合わせて頑張ります。

島泉保育園が来年度で廃園になってしまう事が本当に残念です。市のこども園計画は大規模で、安全面に不安を感じています。今、コロナ禍で次々と行事が中止になっていますが、子どもたちのため、感染症対策をしっかり行いながら開催してもらいたいです。全力で頑張ってくださいの「ささいさん」、これからも応援しています！



島泉保育園元保護者 濱田 理絵

いつも全力で

市民の声を議会へ



市民のみなさんの請願の紹介議員になり、採択に向けて奮闘

富田林土木事務所や近鉄本社と毎年懇談



地域の要望を、みなさんと一緒に毎年懇談



市政を身近に



議会の様子を伝え、要望や意見を聞く市政報告会開催

早朝宣伝



19年間続けています

見守り隊



子どもの安全願って

いつでも
どこでも相談活動



どんな相談も解決に向け全力

市民や地域のみなさんと「継続は力なり」の活動を



平和守るため



原発ゼロめざして



地球環境を守るため

スーパー前で訴えを

羽曳野の関電営業所前で

婦人会のみなさんとマイバッグ運動を

みなさんと力合わせ 実現しました

子ども医療費助成が 高校卒業まで拡充

助成が中学校卒業
からさらに拡充。



小・中学校の全教室に エアコンが設置

子どもたちや先生から
「教室が涼しいから勉強で
きる」とうれしい声が寄せ
られています。



暮らしを応援

- 就学前の子どもにかかる国民健康保険料が半額に
- 就学援助入学準備金が4月に支給
- 軽度難聴児への補聴器購入補助が実現
- 地域包括支援センターが1か所から3か所に

市民健診の無料化と 大腸がん検診との 同時受診

議会で何度も要望し、実現。



コロナ独自策が実現

水道料金基本料金6か
月の無料化、小学校給食
費の無償化などが実現。



子育てを支援

- 待機児童解消のため認可保育園が一園増園
- 公立幼稚園の3歳児保育を4園で実施
- 中学校給食が全員給食へ方向転換

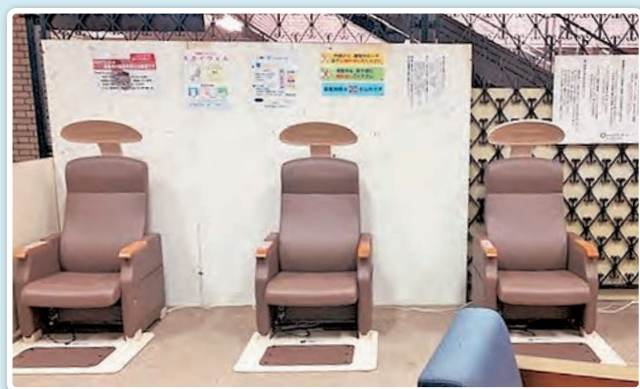
安心・安全・便利に

- 公立保育園の門扉がオートロック化に
- 公共施設循環バスの停留所の増設



安心・安全が前進

陵南の森老人福祉センターに 新しい「ヘルストロン」が設置



「ヘルストロン」(電位治療器)は高齢者の方々の、健康を維持するための治療器として長年愛用されてきましたが、老朽化し「新しくしてほしい」の声が届けられていました。議会ごとに質問や要望し、今年5月に新しい「ヘルストロン」が設置されました。

高鷲8丁目安全柵設置



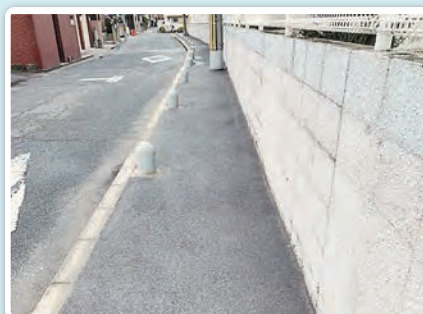
高鷲駅前の歩道の 凸凹が改修



大和高田線の島泉交差点 西側歩道が改修



高鷲北小学校沿いの 歩道が改修



野々上4丁目の水路が改修



島泉7丁目のポールを改修



高鷲1丁目の 水害対策が進む



豪雨のたびに浸水が心配される地域で、水が滑らかに流れるように擁壁面と底面にプラスチックを張り付ける工事がされました。今後さらに根本的な工事が早期にすすめられるよう要望していきます。

日本共産党 次の総選挙で政権交代実現！

医療・福祉・くらし 最優先の政治を

新型コロナ危機をつうじて、多くのみなさんが、これまでのあり方を見つめ、誰もが健康で安心してらせる政治への転換を求めています。

7月4日の東京都議選で日本共産党は、東京五輪を中止して新型コロナ対策に集中し「命を大切にする政治を」と訴えました。また、総選挙での政権交代の流れをつくろうと、市民と野党の共闘を成功させ日本共産党の議席も野党の議席も前進させることができました。

日本共産党は、次の総選挙で菅自公政権、維新政治に厳しい審判を下し、医療・福祉・くらし最優先の政権実現に力を尽くします。と一緒に希望ある政治を実現しましょう。

日本共産党 だからこそがんばれます！

「#困ったときは共産党に相談しよう」——SNSでこんな投稿が広がりました。

日本共産党は、全国で2700人の地方議員、地域・職場・学園で活動する党支部・党員が、困っていることに親身になって相談にのり、解決のために努力しています。

国会では、国民の世論と運動、他の野党との共闘の力で、1人一律10万円支給、雇用調整助成金の上限額引き上げ、家賃支援の仕組み、PCR検査の拡充、医療機関への財政支援など、一連の対策が実現しています。

「国民の苦難あるところ日本共産党あり」——1922年の党創立以来、震災や豪雨・台風災害など、数々の災害で発揮されてきた私たちの立党の精神が、新型コロナ危機のもとでも発揮されています。

知って
ください。

「日本共産党」ってこんな党



国民の苦難軽減が信条 くらしと命を守りがんばる党

コロナ禍でアンケートや生活支援に奮闘。大規模検査を提唱し、PCR検査の拡大、持続化給付金などを実現してきました。

資本主義を乗り越えた 未来への確かな展望をもった党

ジェンダー平等、貧富の格差、気候変動問題も綱領に明記。資本主義の限界を乗り越えた新しい社会への展望を持つ政党です。

憲法9条を守り、どんな国の 覇権主義も許さない党

アメリカでも中国でも、強権で他国を支配する動きは許しません。中国の人権弾圧も厳しく批判しています。

菅政権とも維新政治とも対決 草の根から政治を動かす党

入管法改正案の採決阻止、大阪市廃止の是非を問う住民投票を再び否決するなど、みなさんの声を集めて政治を動かしています。

コロナ 封じ込め対策の強化を！

「感染の波はやむをえない」と言い訳する菅政権。「いつでも、無料で、どこでも」検査を受けられる「世田谷モデル」は「必要ない」と検査拡大を否定する吉村知事。失われる命への痛みはないのでしょうか。世界128位と立ち遅れたワクチン接種を急ぐことは当然ですが、それだけで感染封じ込めはできません。日本共産党は、コロナ危機からくらしを守る対策を提起しています。

国に
対して

ワクチン接種と検査拡充は同時並行で

- 医師・看護師を確保し安全迅速なワクチン接種
- 医療従事者と高齢者・障害者施設の職員・利用者への定期的な検査

十分な補償で営業・くらしをシッカリ支援

- 持続化給付金・家賃支援給付金の再支給
- 対象者・期間を制限しない休業支援金



生活困窮者・ひとり親家庭・学生への支援強化

生活困窮者への「定額給付金」の支給。学生の学費半額。ためらわずに申請できる生活保護制度

市に
対して

日本共産党 独自対策を繰り返し要望



市長、教育長にPCR検査の拡充などを申し入れる(4月20日)

日本共産党議員団が、3月議会で山入端市長に「PCRの社会的検査を」求めたところ「無症状で感染者と接触歴がない方などに対して一律に検査を行うことは、必ずしも適切な方法とは考えていない」とPCR検査を軽視する答弁でした。

日本共産党羽曳野市議員団と力を合わせて、自公政権、維新を退場させ、国民の暮らし応援の新しい政治実現にがんばります。



小松ひさし
日本共産党 大阪14区
国政対策委員長